

生田緑地でのキジラミの採集記録

脇 一郎*

Jumping Plant-Lice (Psylloidea : Sternorrhyncha,
Homoptera) collected in the Area of Ikuta-Ryokuchi
Park, Kawasaki City. 1999-2000

Ichiro WAKI

分類学上カメムシ目とか半翅目とかにまとめられているものの中には、臭い虫として嫌われているカメムシやアメンボ、タガメなどの異翅亜目とセミやウンカ、ヨコバイなどの同翅亜目が含まれている。同翅亜目にはさらにアブラムシやカイガラムシなど草木の害虫として知られ、嫌われている虫たちがいる。これらは樹木や園芸植物などの保護のために比較的調査がなされているが、仲間の一つであるキジラミは同じく主として樹木の害虫であるにもかかわらず、あまり大きな被害をもたらさないためか、綿密に調査されていない。そこで、幸いこのグループを研究されておられる方々のご指導を頂けたので調査してみることにした。

最終的には第5次自然環境調査報告書にまとめて報告の予定であるが、あまり知られていないグループなので一度中間報告をし、今後の調査のよりどころとしたい。

調査に当たっては、川崎市青少年科学館の若宮崇令館長はじめ館職員の方々、かわさき自然調査団の三島次郎団長はじめ林 長閑先生、山内幹雄氏、山本 晃氏ほか調査団の皆さん方、とりわけ事務局の岩田芳美氏に大変お世話になった。記して感謝の意を表したい。

キジラミの採集には樹木や草むらを捕虫網でスイープすることを多用した。なにしろ体長 2~6mmの小さい虫なので、捕虫網に入れてもうっかりすると見落としてしまう。また、結構跳ねるので注意深く吸虫管で吸い採らないと見失ってしまう。

調査の頻度はハチ目の報告と同じなので省略した。

種の同定には、大阪青山短期大学教授の宮武頼夫氏と東洋工学専門学校講師（現東京農業大学農学部）の松本浩一氏の親身にわたるご指導を頂いた。記して心から厚く御礼申し上げたい。

採集記録

(凡例)

1) 記録は、採集頭数、雌雄の別（雄は♂、雌は♀）、採集年月日の順に配列した。採集者は例外を除き全て筆者自身であるので、採集者名を省略した。尚、生田緑地は行政区分では川崎市多摩区柝形6丁目、7丁目および川崎市宮前区初山1丁目にまたがるが、記録にはとくに仕分けをせず、川崎市多摩区生田緑地としてまとめた。また、参考のために、2000年7月11日に川崎市麻生区黒川で調査を行ったが、その記録も含めてある。

*かわさき自然調査団

2) 学名、和名、種の配列は原則として『日本産昆虫総目録』¹⁾に準拠し、最近の研究結果を加味して修正してある。

カメムシ目 Homoptera
腹吻群 Sternorrhyncha
キジラミ上科 Psylloidea
ダデキジラミ科 Aphalaridae

- (01) オビキジラミ *Aphalara fasciata* Kuwayama,1909
1♂ 2♀, 18. VIII.1999 ; 1♂, 30. IX.1999.

カイガラキジラミ科 Spondyliaspidae

- (02) クロオビカイガラキジラミ *Celtisaspis usubai* (Miyatake,1980)
44♂28♀, 15. VI.1999.

キジラミ科 Psyllidae

- (03) セグロヒメキジラミ *Calophya nigradorsalis* Kuwayama,1908
1♀, 15. VI.1999.
- (04) マルアゴヒメキジラミ *Calophya verticornis* Kwon,1983
1♂10♀, 15. VI.1999 ; 1♀, 7. VI.2000.
- (05) ヤマトキジラミ *Accizia jamatonica* (Kuwayama, 1908)
7♂ 6♀, 15. VI.1999 ; 3♂ 2♀, 27. VIII.1999 ; 13♂14♀, 11. XI.1999 ; 3♂ 1♀, 30. XI.1999 ; 1♂ 3♀,
3. IV.2000.
- (06) ムツボシキジラミ *Cyamophila hexastigma* (Horvath,1899)
1♀, 15. VI.1999 ; 2♀, 27. VIII.1999 ; 2♂, 30. XI.1999.
- (07) クロスジキジラミ *Psylla melanoneura* Foerster ,1848
1♀, 30. III.2000 ; 1♀, 23. V.2000.
- (08) イナズマキジラミ *Psylla fulguralis* Kuwayama, 1908
2♀, 18. VIII.1999 ; 2♂, 28. X.1999 ; 2♂ 2♀, 2. V.2000 ; 1♂, 23. V.2000 ; 2♂ 2♀, 11. VIII.2000
(黒川).
- (09) ヤツデキジラミ *Psylla fatsiae* Jansen,1957
1♂ 1♀, 30. IV.1999 ; 1♂, 30. XI.1999 ; 1♂, 12. IV.2000.
- (10) ベニキジラミ *Psylla coccinea* Kuwayama,1908
1♀, 2. V.2000 ; 1♂, 11. VIII.2000(黒川).
- (11) ハコネキジラミ *Psylla hakonensis* Kuwayama, 1908
1♀, 30. XI.1999.
- (12) トベラキジラミ *Psylla tobirae* Miyatake,1964
9♂10♀, 15. VI.1999.
- (13) *Psylla* sp. (ミズキ)
6♂ 8♀, 23. V.2000.
- (14) ブチマキキジラミ *Psylla multipunctata* Miyatake,1964
33♂25♀, 23. V.2000.
- (15) シロダモキジラミ *Psylla kuwayamai* Crawford, 1911
34♂50♀, 23. V.2000.
- (16) サツマキジラミ *Psylla satsumensis* Kuwayama,1908

ネッタキジラミ科 Carsidaridae

- (17) トゲキジラミ *Hemipteripsylla matsumurana* (Kuwayama,1949)
1♀, 11. XI.1999 ; 2♂ 4♀, 30. XI.1999 ; 3♀, 12. IV.2000.

トガリキジラミ科 Triozidae

- (18) アカザトガリキジラミ *Heterotrioza chenopodii* (Reuter,1876)
13♂ 3♀, 30. IX.1999 ; 7♂20♀, 11. XI.1999.
- (19) ウコギトガリキジラミ *Trioza ukogi* Shinji,1940
1♂, 11. XI.1999 ; 1♂, 30. XI.1999.

- (20) クロトガリキジラミ *Trioza nigra* Kuwayama,1910
1♀, 11. XI.1999 ; 2♂ 6♀, 30. XI.1999.
- (21) ニッケイトガリキジラミ *Trioza cinnamomi* (Boselli,1930)
10♂38♀, 24. IV.2000.
- (22) クストガリキジラミ *Trioza camphorae* Sasaki,1910
1♂, 30. IV.1999 ; 1♂ 2♀, 15. VI.1999.
- (23) ウスイロトガリキジラミ *Trioza* sp.
2♀, 30. XI.1999 ; 1♂, 12. IV.2000.
- (24) ムクノキトガリキジラミ *Trioza usubai* Matsumoto,1996
15♂16♀, 11. XI.1999 ; 4♂ 6♀, 30. XI.1999 ; 1♂ 3♀, 30. III.2000 ; 1♂ 2♀, 12. IV.2000.
- (25) エノキトガリキジラミ *Trioza brevifrons* Kuwayama,1910
5♂ 9♀, 15. VI.1999.
- (26) モッコクトガリキジラミ *Trioza ternstroemiae* Matsumoto,1993
2♂ 2♀, 30. IV.1999 ; 8♂ 2♀, 15. VI.1999.

他にカシ類を宿主とする種名が決まっていない種が採集されている。また、松本浩一氏によりタイワントガリキジラミが記録されている。以上

参考文献

- 1) 平嶋義宏監修, 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集, 1989. 日本産昆虫総目録.
- 2) 宮武頼夫, 1973. キジラミ類とその生活. Nature Study,19(1) :5-11.
- 3) Miyatake, Y., 1963. A revision of the subfamily Psyllinae from Japan I (Hemiptera:Psyllidae) . Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ.,12(4) :323- 357.
- 4) Miyatake, Y., 1964. A revision of the subfamily Psyllinae from Japan II (Hemiptera:Psyllidae) . Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ.,13(1) :1-37.